

第3回 岡山県地区防災計画等作成推進協議会

『防災と福祉の連携促進』

～障害者に対する平時と災害時の
切れ目ない支援の実現に向けて～



岡山県相談支援専門員協会
会長 永田 拓

<https://okayama-osk.com>



本格的な超高齢社会へ

迫りくる「家族同居の障がい者」をどのように受け止め、支えていくか？

2025年には「認知症高齢者が700万人台へ」

長年の課題でもあった「親亡き後・・・」に対して本気で向きあう時がきている。



地域共生社会とは

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会

「生きづらさを抱えた方」に お会いして感じたこと

- ・自らに必要な**情報を得る機会に恵まれず**、自分の知り得る情報や経験から得た社会資源の中で暮らしてきた事実があるということ。
- ・自らの**権利を行使することができない**事実。不平等な暮らしを提供してきてしまった**社会的責務**。



倉敷市真備町

世帯:8,715

人口:22,970人(2015, 9)



07/07 06:56

家の中まで水が



NHK ニュースウォッチ9
H30/10/5(金)放送より

相談支援事業所への相談内容

利用者安否に関する相談

基本相談

真備地域
生活支援センター

引っ越しや入院の相談

事業所の片づけ

今私たちは何をすべきか？

- 災害は他人ごとではない。
- 行政のみで考えられない。民間のみでも考えられない。官民一体でないと防災はできない。
- 有事の際に障がいを理由に逃げられないのは本人の責任ではない。地域や社会が悪い。
- 障がいをお持ちの方やそのご家族も備えることから逃げてはいけない。
- とにかく逃げる。空振りでもいいので逃げる。
- 地域生活支援拠点を構築しましょう！

「個別避難計画」他人事には思いませんよね。

